足立支部「ちから」が2年連続

2020年度 東京土建機関紙コンクール

仲間に求められた情報を発信
力量が拮抗した優秀紙

1月30日、東京土建はけんせつプラザ東京で「2020年度機関紙コンクール」審査会を行ないました。厳正な審査の結果、各賞に輝いたのは以下の皆さん（支部）です。審査員は小川拓也全建総連教育宣伝部長、向井光也年金者しんぶん編集長（前「けんせつ」編集長）、三輪純永うたごえ新聞編集長、東海林智毎日新聞編集局社会部編集委員、寺山邦裕東京土建教宣担当中執、三木勉「けんせつ」編集長です。コンクールへの応募は支部機関紙が35支部、記事・写真・イラストが25支部からとなりました。

特選
「おれたち」荒川支部
「土建しんぶん」墨田支部
「土建しんぶん」江戸川支部
「けんちく」渋谷支部
「けんちく」世田谷支部
「すぎなみ」杉並支部

入選
「土建しんぶん」江東支部
「けんせつ北部」板橋支部
「けんちく」目黒支部
「指金」中野支部
「鉾杉」西多摩支部

記事賞（支部機関紙より、以下敬称略）
桐田喜郎（足立）
竹達浩（荒川）
三上竜起（墨田）
堀江玲子（渋谷）
植松和文（世田谷）

記事賞（けんせつより）
石渡啓一（足立）
齋藤政晴（江戸川）
本山美知子（台東）
大浦康昭（豊島）
升川明（三鷹武蔵野）
春日井徹（村山大和）

「忘れえぬこと」より
村越義一（葛飾）
杉本郁代（台東）
小島真一（渋谷）
大内修（世田谷）
小林昇（西多摩）
長谷川重之（清瀬久留米）

写真賞
佐々木靖（足立）
小久保篤（台東）
町田真理子（渋谷）
麻生嶋初枝（三鷹武蔵野）
吉田誠（八王子）
玉置裕人（八王子）

イラスト賞
渡邉健司（足立）
本多健一（文京）
相良眞理（豊島）
三角真弓（練馬）
佐藤カヅコ（渋谷）
長谷川重之（清瀬久留米）

今回の機関紙コンクールの審査では、機関紙本来の役割をどのように発揮したのかで評価が分かれました。コロナ禍において各支部の機関紙では持続化給付金、家賃支援給付金、各種の融資制度など、苦境にある仲間にとって必要な情報を発信していました。しかしその中でも、組合の相談を通じて給付を受けられた仲間の声など、仲間と組合を強く結び付けていく記事は高く評価されました。

特徴的であったのは、支部機関紙の部門で上位に推薦された各紙の力量が拮抗していたことです。最高賞である機関紙賞の選考では、6人の審査員全員が異なる機関紙を推薦したため、合議の上、2紙に絞り、多数決で決定しました。めったにないことです。

コロナの関係以外では、戦争体験の継承と平和運動、建設アスベスト被害補償の課題、医療危機の背景、震災復興の現状、建設キャリアアップシステムの普及・促進、技能後継者の育成などの企画が、仲間にとって役に立ち、読ませるものになっています。

記事賞では自身の体験に基づくものや思いが伝わるものに好感が持たれました。身近な仲間が書いた記事として共感が得られるものです。

機関紙賞
「ちから」足立支部

機関紙賞の決定で大混戦だったコンクール審査会

記事賞受賞者から一言

堀江さん（渋谷）、竹達さん（荒川）

身近なテーマがおもしろい

堀江さん

【渋谷・電気事務・主婦・堀江玲子談】「ウサギの行方」は飲みの席で話したことがあり、夫から面白いから何かあったら書いたらどうかと言われていました。そうしたところ夫が教宣担当になり、教宣部会で話したら、支部機関紙に連載している「思い出の時代」にぜひ書いてくださいと言われたのです。

この記事が読まれての反応では、女性の会の会員からはすごくまとまっていて面白かったとほめられましたが、ウサギを飼っていた娘には、衝撃的なことを書かなくても良かったのにと言われました。でもだいたい好意的でした。

昨年の支部の教宣学習会で「正月の過ごし方」「コロナが終わったら何をしたいか」をテーマに記事を書きました。身近なことを書くことはとてもおもしろいです。

平和への思いを伝えていく

竹達さん

【荒川・大工・竹達浩通信員談】86歳になります。自分は戦争に参加していないが、9歳のときに父が戦死したため小学校までしか行けず、あとは働きづめでした。戦争が人生全般に影響を与えました。私だけでなく、世界には大勢そういう人がいます。

世界を見ても国内を見ても平和に対する危険が高まっています。世界が覇権にのめりこんでいます。戦争は人類にとって最大の罪です。平時に人を殺せば犯罪ですが、戦時には名誉になります。この根底にあるものは何でしょうか。9歳から今まで、そういう思いから抜けられません。

「平和の影」は自分に戦争体験がないので、体験者の証言を通して平和への思いを伝えたいと書いてみました。平和を大事にしたい。絶対に戦争をしてはいけません。

日本機関紙協会の2021新年号機関紙誌コンクールの審査会が2月7日にラパスホールで行なわれました。受賞紙等は以下のとおりです。東京土建からは本部の他に13支部が応募しました。

★労働組合単組・市民団体・都道府県本部機関紙の部

最優秀賞
「けんせつ」本部

★労働組合支部・市民団体支部機関紙の部

特別賞
「すぎなみ」杉並支部

審査員特別賞
「けんちく」世田谷支部
「ちから」足立支部
「けんちく」渋谷支部
「みちしるべ」三鷹武蔵野支部
「ぶんきょう」文京支部
「指金」中野支部
「おれたち」荒川支部
「けんせつ北部」板橋支部
「建設まちだ」町田支部
「けんせつ北部」北支部

佳作
「けんせつ北部」練馬支部

★労働組合分会・市民団体班などの機関紙の部

最優秀賞
「はらから」板橋・徳丸分会

特別賞
「菜の花」練馬・石神井分会主婦の会

審査員特別賞
「井戸ばたかいぎ」渋谷・女性の会
「田柄　むぎ分会ニュース」練馬・田柄分会
「みちくさ」練馬・桜台分会
「豊玉NEWS」練馬・豊玉分会
「たかまつ」練馬・高松分会
「あおぞら」練馬・高松分会
「にりん草」板橋・女性の会
「たにし」北・西が原分会
「北赤通信」北・北赤羽分会

佳作
「笑い薬師」中野・やくし分会
「かみさぎ」中野・上鷺宮分会
「土支田分会だより」練馬・土支田分会
「四面塔」練馬・西大泉分会
「わかば」練馬・石神井台分会
「ひだまり」練馬・石神井台分会
「あけぼの」練馬・上石神井分会
「新大泉分会ニュース／たけの子」練馬・新大泉分会／分会主婦の会
「どんぐり」練馬・早宮分会
「なかむら」練馬・中村分会／分会主婦の会
「富士見台」練馬・富士見台分会
「かたくり」練馬・北大泉分会
「奥戸393人」葛飾・奥戸分会
「ほんでん」葛飾・本田立石分会
「中央」葛飾・中央分会
「女性の会かつしか」葛飾・女性の会
「中央新聞」杉並・中央分会
「浜福だより」杉並・浜福分会
「せんなん」杉並・泉南分会
「花水木」板橋・中宿分会
「おおやぐち」板橋・大谷口分会
「北町奉行」板橋・大谷口北分会
「中央」板橋・中央分会
「志村坂上新聞」板橋・志村坂上分会
「コミュニティ前野中台」板橋・前野中台分会
「蓮根」板橋・蓮根分会
「舟高新聞」板橋・舟渡高島分会
「新赤瓦版」板橋・新赤塚分会
「主婦のちから」町田・さくら会
「主婦の会あらかわ」荒川・主婦の会
「主婦の泉」北・主婦の会
「ほうおう」北・豊王分会
「なかま」北・赤羽分会

★SNS・オンライン活用の部

審査員特別賞
渋谷支部

2021新年号 機関紙誌コンクール 日本機関紙協会